

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:平成27年度】

(②福祉施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市大須賀児童館			担当課名	こども希望課		
区分		内容・説明						
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市児童館条例						
	(2)施設設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。						
	(3)施設が有する設備、機能の概要	集会室(27.04㎡)、遊戯室(71.86㎡)、図書室(26.00㎡)、事務室、便所						
	(4)施設建設年度	昭和62年度						
	(5)耐震性能の有無	有						
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	修繕工事等(随時)						
	(7)指定管理者名	社会福祉法人掛川市社会福祉協議会						
	(8)指定期間	平成23年 4月 1日 から 平成28年 3月31日 まで						
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営						
	(10)自主事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。						
	(11)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。						
(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし							
(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)							
区分		H25実績	H26実績	H27実績	H28当初	備考		
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	-	-	10,000	10,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。	
		(実績値)	9,517	10,044	11,004			
	内訳(施設・設備ごと)	児童館	9,517	10,044	11,004			
	(2)稼働率(利用率)					↓備考欄に算定式を記入してください↓		
	(施設・設備ごと)	A平日昼間						
		B平日夜間						
		C土日祝昼間						
D土日祝夜間								
区分		H25実績	H26実績	H27実績	H28当初	備考		
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入		
	(2)利用者一人当たりの運営経費	955	936	954				
	(3)運営日数	245	247	246				
	(4)運営人員	①正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
②臨時職員		1.0	1.0	1.0	1.0			

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	7,993,908	8,240,106	9,387,538	9,355,000	
	②印刷費					
	③通信費	88,567	84,917	86,114	100,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	72,364	79,719	55,526	75,000	
	⑤借上料	84,000	150,552	150,552	151,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	86,350	74,490	56,900	62,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	761,646	767,818	764,912	581,000	
	計	9,086,835	9,397,602	10,501,542	10,324,000	
対前年度増減率			3.4	11.7	△ 1.7	
区分		H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	87,008	147,965	213,238	177,000	
	コピー機チャージ料	87,008	147,965	213,238	177,000	
	電気保守点検					
	消防設備保守点検					
	②修繕費	124,677	94,046	162,824	150,000	
	③光熱水費	13,608	859,933	887,879	1,023,000	
	④燃料費	59,247	55,983	24,159	80,000	
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)	122,200	119,713	179,368	115,000	
計	406,740	1,277,640	1,467,468	1,545,000		
対前年度増減率			214.1	14.9	5.3	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		9,493,575	10,675,242	11,969,010	11,869,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		95.7	88.0	87.7	87.0	
(5)施設の収入 ※1)下記3)を入力する		0	0	0		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合						

III 収支差額の状況 **注)**【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	9,493,575	10,675,242	11,969,010	
収支差額 a) - b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a) - トータルコスト)				
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a) - b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	2	特に問題なく運営している。 施設の性質上、高齢者とかかわりも多く、児童館まつりは高齢者のふれあい作品展、市民交流センター、図書館、農協等隣接する施設のコラボレーション企画「e〜ら大須賀」での開催をし、地域に根付いた施設としての行事の企画運営に努力している。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、未達成 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
A 施設全体の満足度	80%以上	80%	3	施設の老朽化が満足度を低くする要因の一つになっているが清掃、点検等により清潔、安全を目指す。
B サービス内容の満足度	80%以上	72%	0	平成28年4月～ 月～土曜日開館。老人福祉センターと合わせ、サービス向上を図る。9～17時までの利用時間とし日曜・祝日のみ休館とする。
C 従業員対応の満足度	80%以上	85%	3	85%達成
D 施設安全対策の満足度	80%以上	80%	3	安全基準は満たしている。毎月の避難訓練を実施。
E 美観・清潔感の満足度	80%以上	66%	0	建物の老朽化が進んでいるが、掲示や壁面の飾りの工夫や清掃により明るい館内、清潔な館内を目指す。
F 施設の利用者数	10,000人	11,004人	3	目標来館者数10,000人に対し、27年度は11,004人であった。

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、達していなければ0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	2	事業内容の工夫、節電等を心がけ経費節減に努めている
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	毎月1回の来館者を対象として避難訓練を継続実施している。避難訓練、不審者対策を支所と連携しながら行っている。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	指定管理の5年間で27年度で終了し、28年度から5年間指定管理者として企画運営に関しすべてを担う。地域と連携している社会福祉協議会が過去5年間の指定管理者としての経験を生かし、地域に根差した児童館として地域住民と連携することはもとより、保育園、幼稚園学校、地域の施設、関係施設(子育て支援センター、つどいの広場)、関係団体(子育てサロン、サークル、子ども会等)との連携をすることで市全体の子育て力向上につなげていく。その中で「子育て日本一」に向け、今後の5年間で重要な役割を果たすと思われる。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	社会福祉協議会は児童館開館当初から管理運営をしている指定管理者であるため、児童館の目的である遊びを通して児童の健全育成を促し、健康増進を図る、情操を豊かにする等、そのノウハウをかね備えている。また、長年の積み重ねにより地域とかかわりも深く、地域との連携を図りつつ事業展開をしている。小学校、中学校、高校との連携も図り、学生のボランティア受入も積極的に行っている。また、子育て中の親子には子育て相談窓口として子育てのコツやアドバイスを伝える役割を果たしている。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	22	／33
----	----	-----

V その他自由意見

--